

羽島市出身の世界的建築家・坂倉準三設計  
国の重要文化財候補！  
日本建築学会賞受賞・「DOCOMOMO100選」選定

## 羽島市役所旧本庁舎の 利活用を考えるシンポジウム

# 解体の危機！ 羽島市役所旧本庁舎

「見学会」申し込み切  
5/22（月）17:00まで  
シンポジウムは当日まで予約可。  
参加費無料  
シンポジウム・見学会  
予約はこちらから



署名はこちらから



# 5月27日[土]

### 見学会

13:00-14:40

集合場所：羽島市民会館  
第一会議室

案内・解説：

- ・ 鯉坂徹 (DOCOMOMO Japan 副代表)
- ・ 清水隆宏 (愛知工業大学 准教授)

13:00 羽島市民会館  
第一会議室 集合  
・ 羽島市役所旧本庁舎  
(外観のみ)

- ・ 坂倉準三生家
- ・ 竹鼻町街並み散策
- ・ 羽島市民会館  
「関連展示」鑑賞

14:40 見学会 終了

### シンポジウム

15:00-17:45

会場：羽島市民会館  
第一会議室

総司会：清水隆宏 (日本建築学会東海支部建築歴史意匠委員会委員、  
愛知工業大学 准教授)

開会挨拶：山田紘治 (羽島市議会議員)

- 講演 1 「羽島市役所旧本庁舎の現状と課題」  
・ 時田憲章 (羽島あすなろ会 代表)
- 講演 2 「DOCOMOMO Japan 選定建築」  
・ 大宮司勝弘 (DOCOMOMO Japan 事務局長)
- 講演 3 「戦後コンクリート建築の利活用」  
・ 鯉坂徹 (DOCOMOMO Japan 副代表)
- 講演 4 「羽島市役所旧本庁舎の文化財保護法における位置付け」  
・ 三浦彩子 (岐阜県文化財保護審議会委員、名城大学 准教授)
- 講演 5-1 「羽島市役所旧本庁舎の利活用に関する提案書と  
その展開 -1」  
・ 堀田典裕 (日本建築学会建築歴史・意匠委員会委員、  
名古屋大学 准教授)
- 講演 5-2 「羽島市役所旧本庁舎の利活用に関する提案書と  
その展開 -2」  
・ 山岡嘉彌 (山岡嘉彌デザイン事務所代表)

#### ディスカッション

コメンテーター：梅宮弘光 (日本建築学会建築歴史・意匠委員会委員、  
神戸大学 教授)

### 関連展示

10:00-20:00

会場：羽島市民会館  
第一会議室

#### 展示 1 「建築家・坂倉準三」

- ・ 坂倉準三・その人と作品

#### 展示 2 「羽島市役所旧本庁舎 利活用の提案書」応募案

- ・ 名古屋大学 堀田研究室  
の提案展示
- ・ 山岡嘉彌デザイン事務所  
の提案展示

事前にお申しいただきました方には、下記の  
Zoom URL に入室していただくことが可能で  
す。

<https://us02web.zoom.us/j/86178598252?pwd=U0JPQ0QrdmhlSXZkSHUvYzZRBiZlQT09>  
ミーティングID: 861 7859 8252  
パスコード: 624160



右側のQRコードからも  
上記のURLに飛べます。

会場：羽島市民会館  
第一会議室

羽島市福寿町浅平3丁目25

参加費：無料

お問い合わせ先：  
羽島あすなろ会 事務局 時田憲章  
〒501-6315  
羽島市下中町石田 411  
電話：090-3933-2724  
MAIL：noriakitokida@gmail.com

主催：羽島あすなろ会  
後援：DOCOMOMO Japan  
日本建築家協会東海支部  
日本建築学会東海支部  
坂倉建築研究所

# 耐震補強すれば使える旧本庁舎 利活用して羽島のまちの活性化に役立てよう



閉鎖前の旧議場 立派な内装が残り観光資源になる可能性があります

## 羽島市役所旧本庁舎

1954年に羽島郡南部の1町9か村が合併し羽島市となり、初代羽島市長堀順一からの依頼で地元出身の坂倉準三が設計し、1959年に竣工した庁舎。合併した北側と南側の町村の双方が正面となるデザインやスロープ、望楼等々が高く評価され日本建築学会賞を受賞した。羽島市庁舎は竣工以来64年間、羽島市のランドマークとして親しまれ、市民の記憶となっている。岐阜県が調査した近代建築物リストに庁舎建築の先駆的存在として評価されるだけでなく、DOCOMOMO Japan 100選に選定され、国内外から再生を望む声があがっている重要文化財候補である。鉄筋コンクリート建築の寿命は近年見直され、耐震補強すればまだ十分に利活用が可能です。



望楼は庁舎3階で緊結されており学校敷地に倒壊する可能性はありません



パリ万博日本館



## 坂倉準三

竹鼻町の出身で、パリのル・コルビュジエに師事し、世界中の建築家やデザイナーと交流した。人を中心に据えた精神を学ぶとともに、国際的な場で日本への眼差しを身につけた建築家。1937年のパリ万博「日本館」で世界的デビューを果たし、戦後国内で東京の都心部の渋谷や新宿、大阪の難波をはじめ、各地につくられた企業の建築群や庁舎、高速道路料金所まで、多数の構築物を生み出した。いつ見ても斬新なそれらのデザインは、当時から日本の建築と景観に大きな影響を与え、1951年に竣工した旧神奈川県立近代美術館は重要文化財に指定され、鎌倉文華館鶴岡ミュージアムとして利活用されている。伊賀市の旧市庁舎においても利活用が市議会でも可決され設計が進められている。

2017年2月～7月

旧庁舎検討委員会 旧庁舎を庁舎として使用せず敷地内に新庁舎を新築

2017年10月

市が市民1000人に市庁舎建設のアンケート 538人が回答

2019年10月

新庁舎着工

2021年7月～2022年2月

羽島市旧庁舎あり方検討委員会 本庁舎は解体

2021年8月

「羽島市旧庁舎の活用に向けた検討期間の延長に関する要望書」提出 DOCOMOMO Japan

2021年9月

「羽島市旧庁舎の取り扱いに関する要望 あすなる会」

2021年10月

地元でシンポジウム「羽島の宝物—旧羽島市庁舎」が開催される

2021年11月

新庁舎が7月に竣工し、新庁舎へ移転 旧庁舎閉鎖

2022年3月

「旧羽島市庁舎の保存活用に関する要望書」提出 日本建築学会東海支部

2022年3月

新庁舎内で日本建築学会と DOCOMOMO Japan が市議会議員への説明会

2022年7月～9月末

旧本庁舎の民間活力等による利活用方法の提案募集 2件の応募がある

A：子育て支援と中心市街地活性化の施設 日本建築学会東海支部歴史意匠委員会

B：はしま建築ミュージアム、はしまマルシェ 山岡嘉彌デザイン事務所

2022年12月9日

羽島市旧本庁舎の方針決定

「今後の市の行財政運営への影響」、「建築物としての利用価値」、「周辺への安全性」から解体

2023年1月

再度 DOCOMOMO Japan が要望書「羽島市旧庁舎の解体延期に関する要望書」

2023年2月～

地元のあすなる会が旧庁舎の保存利活用の署名をはじめ、すでに2200人以上の署名が集まっています。

<https://www.change.org/p/国の重要文化財候補の羽島市旧本庁舎を守ろう> から署名できます。



旧本庁舎3階



旧本庁舎3階 市長公室  
コート掛けは、パリでも展示された